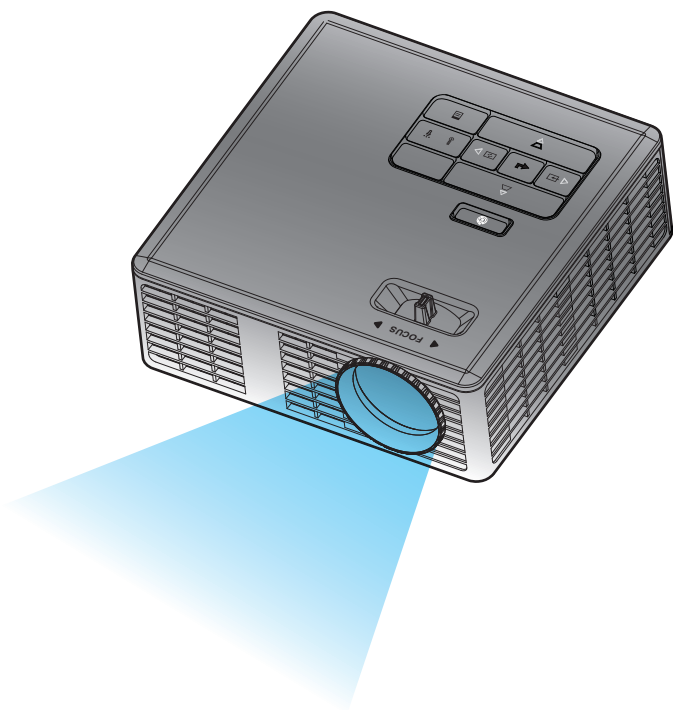


 **Optoma**[®]



取扱説明書

内容

安全上のご注意	3
使用目的に関する声明	4
安全に関する情報	4
安全ラベル	6
商標	7
ビデオおよびオーディオデコーダに関する注意事項	7
規制に関する注意事項	8
CEに関する声明	9
WEEEに関する声明	9
はじめに	10
同梱されているもの	10
プロジェクタについて	11
本体	11
入力/出力接続	12
コントロールパネル	13
リモコン	14
リモートコントロールバッテリーの取り付け	15
リモコンの動作範囲	15
設置	16
コンピュータへの接続	16
DVDプレーヤーへの接続	17
マルチメディアへの接続	18
プロジェクターの電源を入れる/切る	19
プロジェクタの電源を入れる	19
プロジェクタの電源を切る	19
投影画像の調整	20
プロジェクタの高さを上げる	20
プロジェクタの高さを下げる	20
プロジェクタのフォーカス調整	20
投影画像サイズの調整	21
ユーザー制御	23
オンスクリーンディスプレイの使用方法	23
メインメニュー	23
言語	23
ソース	24
ディスプレイモード	25
オーディオ	25
自動調整	26

OSD Reset	26
データ転送	26
詳細	26
ファームウェアバージョン	26
詳細メニュー	27
表示 (PCモードで)	27
表示 (ビデオモード)	28
画像 (PCモードで)	29
画像 (ビデオモード)	29
電源	31
マルチメディアの概要	32
写真形式	32
ビデオ形式	32
オーディオ形式	33
オフィスビューア形式	33
USBを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法	34
マイクロSDを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法	35
内部メモリを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法	36
マルチメディアメインメニュー	37
USB、MicroSD、および内部メモリに対するマルチメディアセットアップ	37
写真設定	38
ビデオ設定	39
音楽設定	40
情報	41
付録	42
トラブルシューティング	42
ガイド信号	44
互換モード(アナログ/デジタル)	45
プロジェクトの三脚架	46

安全上のご注意

	正三角形内に矢形のある電光のひらめきは、製品のエンクロージャー内に非絶縁型の「危険な電圧」があり、人に電気ショックの危険性を与える大きさになりうることをユーザーに警告するのが目的です。
	正三角形内の感嘆符は、電気器具に付属されているパンフレットに重要な操作とメンテナンス(修理)の指示があることをユーザーに警告するのが目的です。

警告: 火災や電気ショックの危険性を減らすため、この電気器具を雨や湿気にさらさないでください。エンクロージャー内は危険な高圧状態です。キャビネットを開かないでください。修理は適格な担当者にのみらせてください。

クラスB排ガス規制

このクラスBデジタル装置は、カナダのインターフェース関連設備規制のすべの要求事項を満たしています。

重要な安全上の指示

1. どの換気孔もふさがないようにください。プロジェクタを確実に操作できるようにし、過熱にならないようにするには、通気をふさがない場所にプロジェクタを設置することをお勧めします。例としては、物であふれたコーヒートーブルや、ソファ、ベッドなどの上にプロジェクタを載せないでください。空気の流れを制限する本棚やキャビネットなどの囲いの中にプロジェクタを置かないでください。
2. 水や湿気のあるところでプロジェクタを使用しないでください。火災や電気ショックの危険性を減らすには、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、または熱を放つ増幅器といったその他の器具など、熱源の周辺に設置しないでください。
4. 掃除には、乾いた布だけを使ってください。
5. メーカー指定の取り付け具/付属品のみを使用してください。
6. 装置一式が物理的損傷があったり、乱用されているものは使用しないでください。
物理的損傷/乱用の例は次のとおりです(ただしこれに限定されるものではありません):
 - ☐ 装置一式を落としたことがある。
 - ☐ 電源コードやプラグが損傷している。
 - ☐ 液体をプロジェクタにこぼしたことがある。
 - ☐ プロジェクタを雨や湿気にさらしたことがある。
 - ☐ 何かがプロジェクタの中に落ちている、またはその内側の何かが緩んでいる。装置一式を自身で修理しないようにします。カバーを開けたり、外したりすると、危険な電圧やその他のハザードにさらされる可能性があります。装置一式を修理に出す前にOptomaまでお電話ください。
7. プロジェクタに物や液体が入らないようにしてください。これらが、火災や電気ショックにつながる危険な電圧ポイントおよびショートする部品に触れる可能性があります。
8. 安全に関連する印についてはプロジェクタの同封物を参照してください。
9. 装置一式の修理は、適切なサービス担当者のみが行う必要があります。

使用目的に関する声明

- 動作温度 :
 - 0~2,500フィート、5~35 °C
 - 2,500~5,000フィート、5~30 °C
 - 5,000~10,000フィート、5~25 °C
- 最大湿度 :
 - 動作 : 5°C~35°C、相対湿度80% (最大)、結露無し
 - 保管 : -20°C~60°C、相対湿度80% (最大)、結露無し

周囲動作環境に、空中に浮遊する煤煙、グリース、オイル及びプロジェクターの操作や性能に影響を与える可能性があるその他の汚染物質がないようにします。

悪条件下で本製品を使用する場合、製品保証は無効になります。

安全に関する情報

このプロジェクターを使用する前に、この説明書に含まれる安全に関する情報を読んで、理解し、そして従ってください。将来の参考のため、この説明書を保持してください。

シグナルワードと結果の説明	
⚠ 警告 :	回避しないと、死亡または重傷及び/または物的損害が生じる可能性がある潜在的に危険な状況を示します。
⚠ 注意 :	回避しないと、軽傷又は中程度の傷害及び/または物的損害が生じる危険性がある状況を示します。
⚠ 警告 :	危険電圧

⚠ 警告

危険電圧に関連するリスクを減らすために：

- どのような方法でも本製品を改造しないようにします。
- このプロジェクターを修理しないようにします。
- ユーザーが修理可能な部品はありません。修理は、Optoma認定サービスプロバイダが、Optoma承認システムコンポーネントを使用した場合のみ行うことができます。
- 湿った環境で壁面の電源を使用しないようにします。
- 破損した壁の電源を使用しないようにします。破損した部品を使用前に交換します。

火災および爆発に関連するリスクを減らすために：

- プロジェクターを液体に浸さないようにし、また、濡れないようにします。
- Optoma承認電源装置のみを使用します。

窒息に関連するリスクを減らすために：

- リモコン電池のようなすべての小さい部品を子供またはペットのそばに置かないようにします。

危険な電圧、衝撃、つまずき、そして強烈な可視光線に関連するリスクを減らすために：

- 監視する者のいない子供の周りで、このプロジェクターを使用しないようにします。

⚠ 注意

難聴に関連するリスクを減らすために：

- 音量レベルに関してイヤホンメーカーの説明書を必ず読みます。
- ユーザーは、安全な音量レベル設定の責任を負います。

電池の液漏れによる爆発及び/または化学物質に関連するリスクを減らすために：

- 電池タイプCR2025のみを使用します。
- 電池のプラス (+) およびマイナス (-) 端子をリモコン上のマークに合せます。
- 長時間リモコン内に電池を入れて放置しないようにします。
- 電池を加熱したり、火に曝さないようにします。
- 電池を分解、ショート、または充電しないようにします。
- ポケットまたはバッグに電池をいれて運ばないようにします。
- 電池の液体が漏れた時、眼および皮膚に接触しないようにします。
- 火気の近くまたは非常に暑い環境で電池を充電しないようにします。

環境汚染に関連するリスクを減らすために：

- 適用される政府の規制に従って、すべてのシステムコンポーネントを廃棄します。

LED高輝度ライトに関連するリスクを減らすために：

- プロジェクターのレンズを直接覗かないようにします。

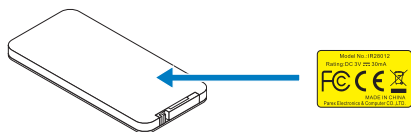
つまずきおよび落下に関連するリスクを減らすために：

- つまずきの危険がないように充電コードおよびデータケーブルを置きます。

重要な注意：車の中など閉めきった空間でプロジェクターを直接日光に当てないでください。

次の説明書を保存してください

安全ラベル



リモコン（オプション）

モデル番号IR28012

商標

OptomaおよびOptomaロゴは、Optoma社の商標です。AdobeおよびAdobeロゴは、米国および/またはその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。Microsoft、PowerPoint、およびExcelは、Microsoft社の登録商標です。MicroSDおよびMicroSDHCはSD Associationの商標です。

その他すべての商標または登録商標は、各社の所有物です。

ビデオおよびオーディオデコーダに関する注意事項

MPEG-4に関する注意事項

本製品は、消費者による個人使用および非商業目的で使用するために、(i)MPEG-4映像標準（以下、「MPEG-4ビデオ」という）に準拠してビデオをエンコードすること及び/または、(ii)個人使用および非営利活動に従事する消費者がエンコードしたMPEG-4ビデオ及び/またはMPEG LAからMPEG-4ビデオ提供のビデオプロバイダーライセンスを取得したMPEG-4ビデオをデコードすることについて、MPEG-4映像特許ポートフォリオライセンスに基づいて使用許諾されています。ライセンスは許諾されておらず、また、その他の用途に関し黙示的に認められていません。販売促進、社内および商用的利用およびライセンスに関する追加情報は、MPEG LA, LLCから取得することができます。[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)を参照してください。

AVCビデオに関する注意事項

本製品は、消費者による個人使用および非商業目的で使用するために、(i)AVC標準（以下、「AVCビデオ」という）に準拠してビデオをエンコードすること及び/または、(ii)個人使用および非営利活動に従事する消費者がエンコードしたAVCビデオ及び/またはAVCビデオ提供のビデオプロバイダーライセンスを取得したAVCビデオをデコードすることについて、AVC特許ポートフォリオライセンスに基づいて使用許諾されています。ライセンスは許諾されておらず、また、その他の用途に関し黙示的に認められていません。追加情報は、MPEG LA, L.L.Cから取得できます。[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)を参照してください。

MPEGレイヤ3に関する注意事項

本製品の供給は、この製品で作成したMPEGレイヤ3互換コンテンツの収益生成放送システム（地上波、衛星、ケーブル及び/またはその他配信チャンネル）、ストリーミングアプリケーション（インターネット、イントラネット及び/またはその他ネットワーク経由）、その他のコンテンツ配信システム（有料オーディオまたはオーディオディマンドアプリケーションおよびその類似）または物理メディア（CD、DVD、半導体チップ、ハードドライブ、メモリカードおよびその類似）への配信に関するライセンスおよび権利を意味するものではありません。そのような利用には、個別のライセンスが必要です。

詳細は、<http://mp3licensing.com>を参照してください。

規制に関する注意事項

FCC声明 - クラスB

本製品はラジオ周波数を発生、使用、放射しますので、説明書通り正しく設置および使用されていない場合はラジオ混信を招く恐れがあります。FCC規則のパート15サブパートBに定められたクラス「B」コンピューティングデバイスの制限事項に準拠しており、住宅に設置し操作される場合、干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。ただし、正しくインストールが行われている場合においても、絶対に妨害を招かないという保証はありません。本製品がラジオもしくはテレビ受信に対して妨害を招き、装置の電源を入れたり切ったりすることで、本製品が原因であることが明らかである場合は、以下の要領で妨害の修正を試みて下さい。

- 受信アンテナを再編成するか、位置を移動する。
- 本装置と受信機の間隔を広げる。
- 本装置を、受信機が接続されているものとは別の電源に接続し直す。
- ラジオ/テレビの専門技師に問い合わせる。

注意：このクラスBデジタル装置はカナダICES-003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

カナダ産業省の規制情報

本装置の操作は以下の条件の対象となります。

- (1) この装置は、干渉を引き起こす場合があります、そして、
- (2) 本装置は操作に有害な干渉を含め、すべての干渉を受けます。

ユーザーは、RF曝露要件を満たすためにこのマニュアルに指定された通りに本装置を使用する必要があることに注意します。このマニュアルに一致しない方法で本製品を使用すると、過度のRF曝露状態につながる可能性があります。

このクラス[B]デジタル装置はカナダICES-003に準拠しています。

このデジタル装置はカナダのクラス[B] NMB-003に準拠しています。

ユーザーへの指示：本製品は、次の条件を満たすと、FCC機器要件に準拠します。ケーブルにEMIフェライトコアを含める場合は、プロジェクターへのケーブル端にフェライトコア取り付けます。プロジェクターに付属または指定されたケーブルを使用してください。

メモ：準拠に関する責任当事者の明示的な承認のない変更や修正は、機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

IDA標準DA103121に準拠

CEに関する声明

電磁適合性に関する声明：2004/108/EC指令に適合

低電圧指令：2006-95-EC指令に適合。

WEEEに関する声明

以下の情報は、EUメンバー国用です：

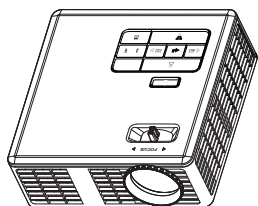
右側に表示されているマークは廃電気電子機器指令2002/96/EC（WEEE）に準拠しています。マークは、地方自治体の廃棄物として機器を廃棄せず、現地の法律に従って適切な回収システムを使用するように要件を示します。



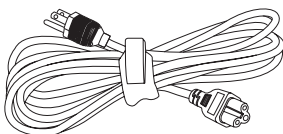
はじめに

同梱されているもの

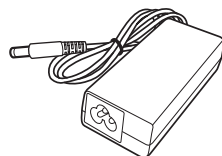
このプロジェクタには次のものが付属しています。すべてのアイテムがあることを確認し、欠けているものがある場合は、最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。



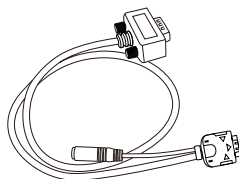
プロジェクタ



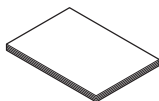
電源ケーブル



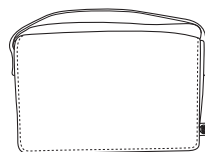
ACアダプタ



ユニバーサル 24ピン VGA/
オーディオケーブル



クイックスタートカード
および文書



キャリーケース

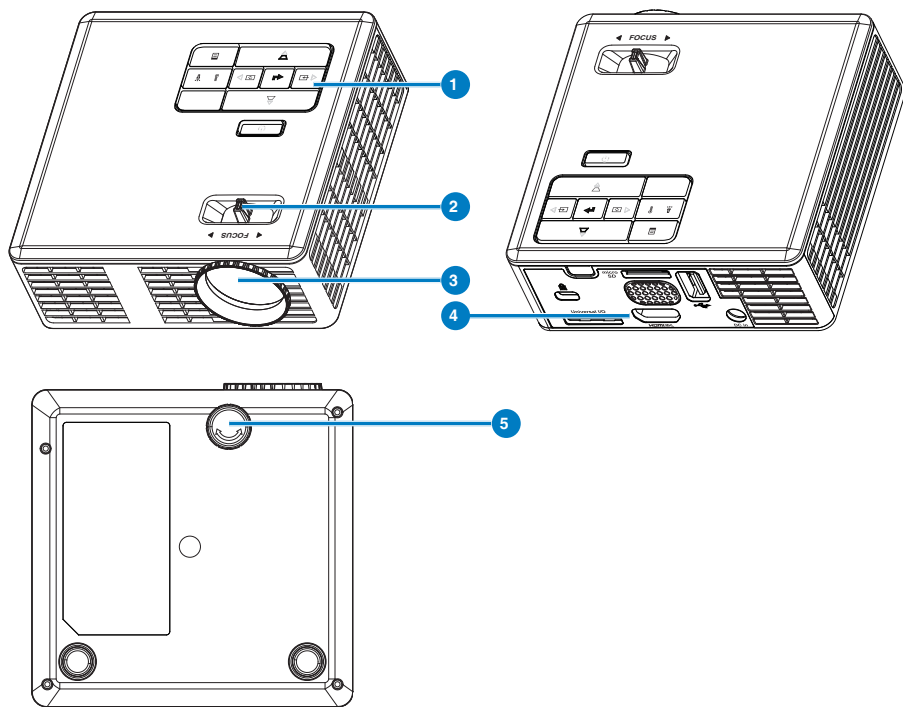


リモコン

メモ：リモコンは、電池付きで出荷されます。

プロジェクタについて

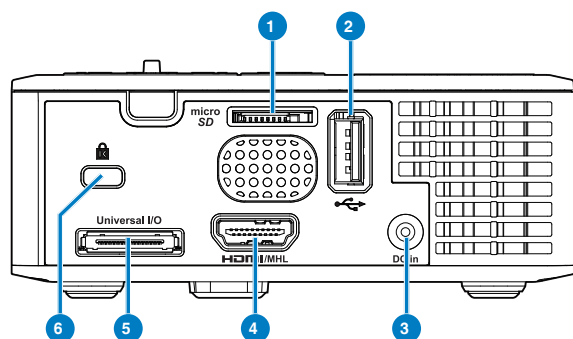
本体



説明

- 1 コントロールパネル
- 2 フォーカスリング
- 3 レンズ
- 4 入力/出力接続
- 5 傾斜調整ホイール

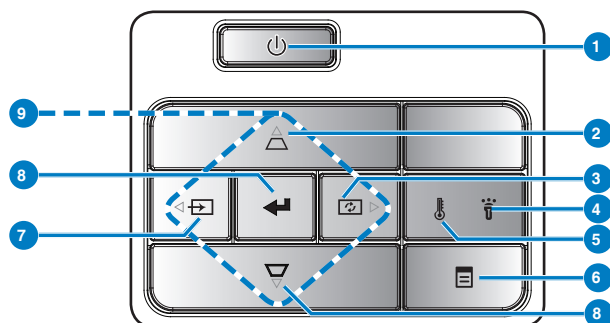
入力/出力接続



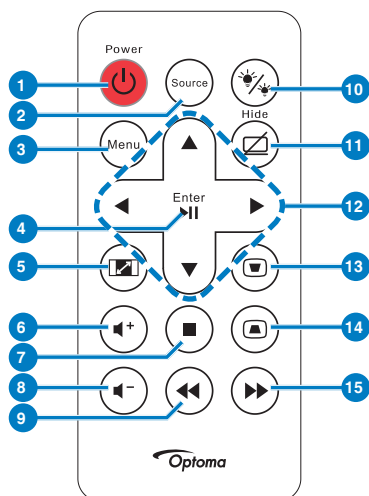
説明

- 1 マイクロSDカードスロット
- 2 USBタイプAコネクタ
- 3 DC入力コネクタ
- 4 HDMI/MHLコネクタ
- 5 ユニバーサルI/Oコネクタ
- 6 セキュリティケーブルスロット

コントロールパネル



#	名称	説明
1	電源	プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。
2	キーストーン調整	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します(+/-40度)。 メモ：この機能は、マルチメディア機能に対応していません。
3	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。 メモ：オンスクリーンディスプレイ（OSD）が表示されている場合は、自動調整は作動しません。
4	エラーLED	エラーLEDがオレンジ色で点灯している場合、LEDの1つが故障しています。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
5	温度LED	TEMPのオレンジ色のインジケータが点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われます。 - プロジェクターの内部温度が高すぎます。 - ファンが故障しています。
6	メニュー	このボタンを押してOSDを起動します。方向キーとメニューボタンでOSDをナビゲートします。
7	ソース	押して、ソースメニューに移動し、入力ソースを選択します。 メモ：この機能は、マルチメディア機能に対応していません。
8	入力	このボタンを押して選択項目を確定します。
9	4方向選択キー	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。



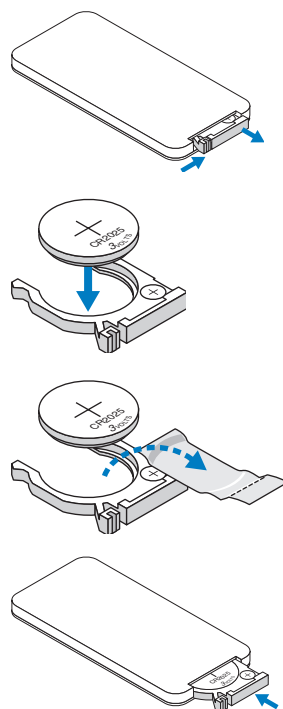
#	名称	説明
1	電源	プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。
2	ソース	押して、ソースメニューに移動し、入力ソースを選択します。
3	メニュー	このボタンを押してOSDを起動します。
4	入力	このボタンを押して選択を確定します。
再生/一時停止		このボタンを押してメディアファイルを再生/一時停止します。
5	縦横比	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。
6	音量アップ	このボタンを押して音量を上げます。
7	停止	このボタンを押してメディアファイルの再生を停止します。
8	音量ダウン	このボタンを押して音量を下げます。
9	巻き戻し	押すと、逆行に検索します。
10	LEDモード	表示モードを選択できます。
11	空のスクリーン	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
12	上/下/左/右	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
13	キーストーン調整	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します(+/-40度)。
14	キーストーン調整	
15	早送り	押すと、前方に検索します。

リモートコントロールバッテリーの取り付け

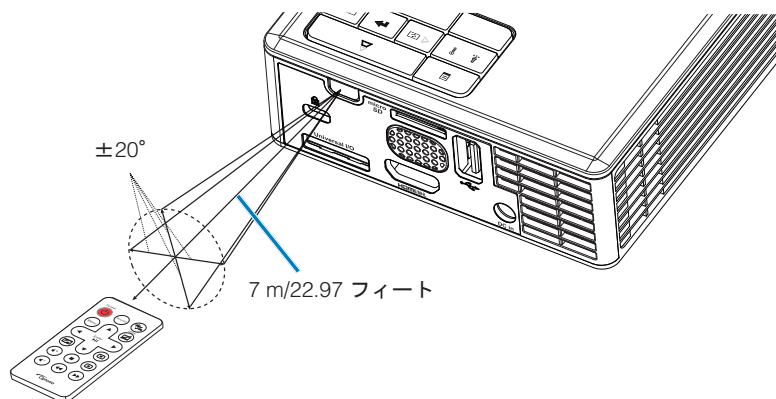
1. 側面をしっかりと押され、バッテリーホルダーを引き出してバッテリーホルダーを取り外します。
2. CR2025ボタン電池を入れ、バッテリーホルダーのマークに合わせて電極を正しい向きに合わせます。

メモ：リモコンを初めて使用する際は、バッテリーと端子の間にプラスチックシートが挟んであります。ご使用前にそのシートを取り出してください。

3. バッテリーホルダーを元に戻します。



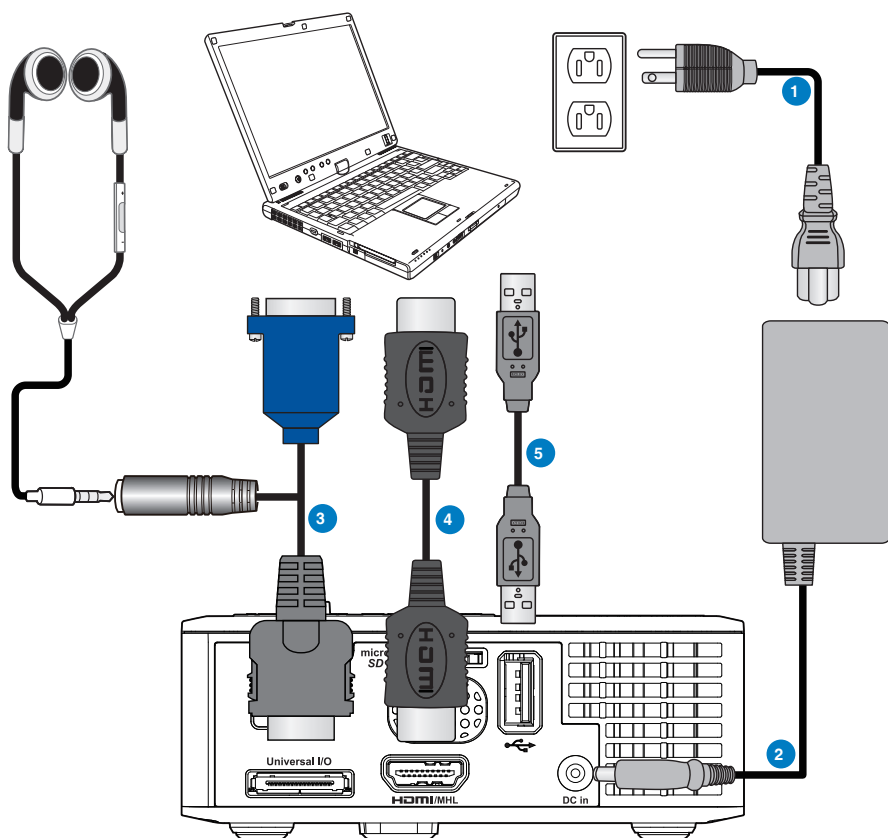
リモコンの動作範囲



メモ：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。更に、電池が弱るとリモコンの動作範囲が狭くなったり、リモコンが動作しなくなります。

設置

コンピュータへの接続

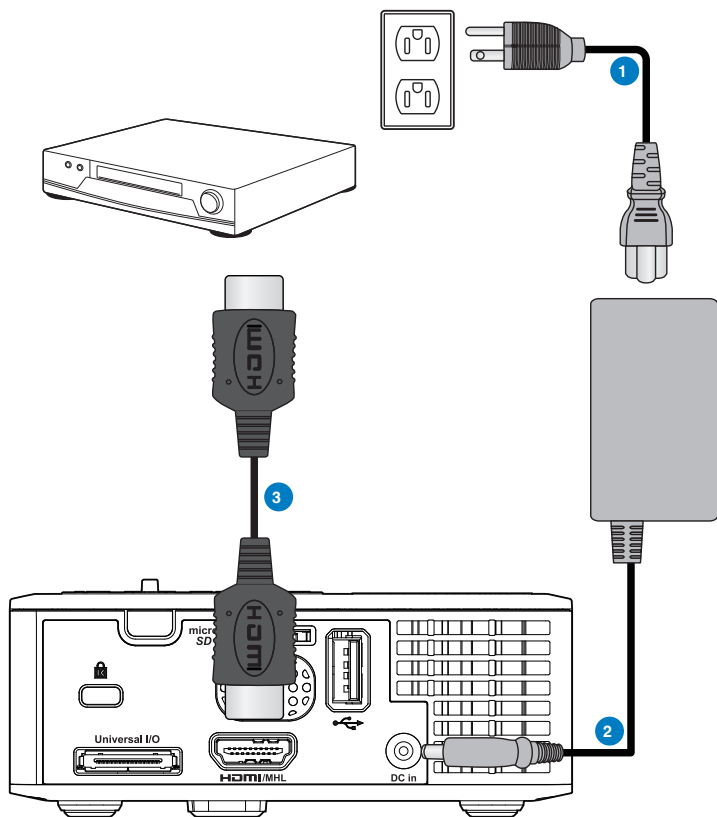


説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 ユニバーサル 24ピン VGA/オーディオケーブル
- 4 HDMIケーブル *
- 5 USB-A - USB-Aケーブル *

* メモ : 付属品はプロジェクターに同梱されません。

DVDプレーヤーへの接続

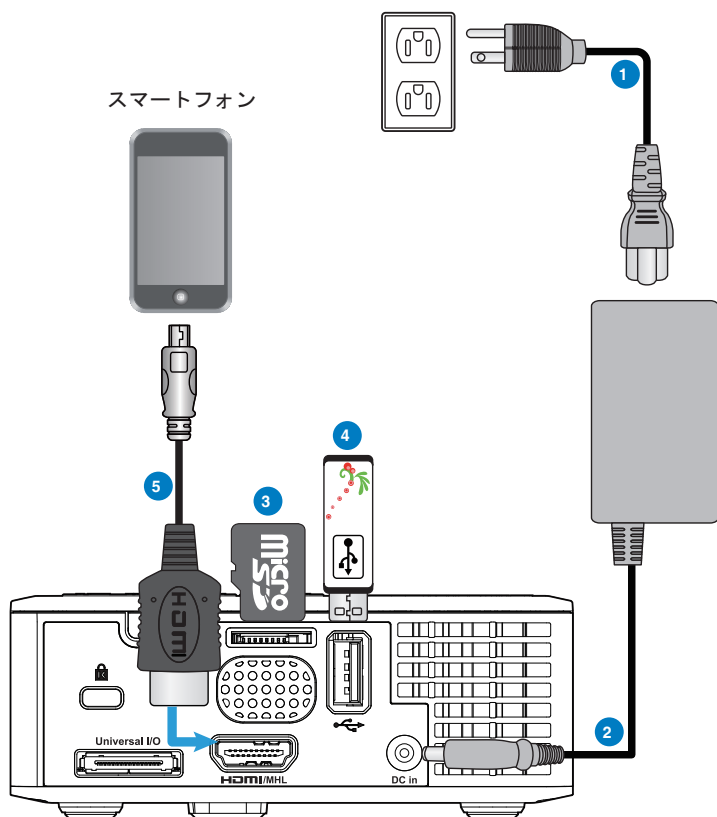


説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 HDMIケーブル *

* メモ : 付属品はプロジェクターに同梱されません。

マルチメディアへの接続



説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 マイクロSDカード*
- 4 USBフラッシュディスク*
- 5 MHLケーブル*

* メモ : 付属品はプロジェクターに同梱されません。

プロジェクターの電源を入れる/切る

プロジェクタの電源を入れる

メモ：プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVDプレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンはオレンジ色で点滅します。

1. ACアダプタと一緒に電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。
2. **電源ボタン**を押します。
3. ソース（コンピュータ、DVDプレーヤーなど）の電源を入れます。
4. 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。
5. 入力ソースは、前回接続した入力ソースで決まります。（デフォルトで、プロジェクタの入力ソースはマルチメディアに設定されています）。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
6. プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルの**ソースボタン**を押して、希望するソースを選択します。

プロジェクタの電源を切る

1. **電源ボタン**を押します。プロジェクタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。

メモ：「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」メッセージが画面に表示されます。メッセージが5秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。

2. **電源ボタン**をもう一度押します。冷却ファンが3～5秒間作動します。
3. コンセントとプロジェクタから電源ケーブルとACアダプタの接続を外します。

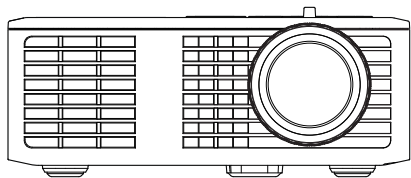
投影画像の調整

プロジェクタの高さを上げる

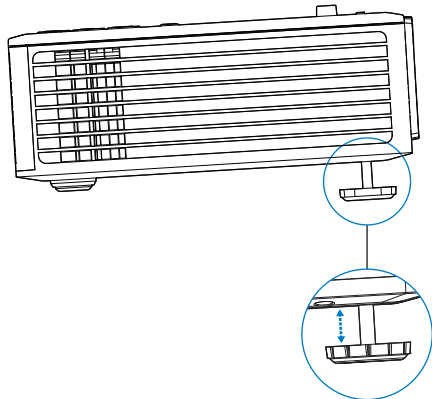
プロジェクタを任意の高さまで上げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

プロジェクタを下げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。



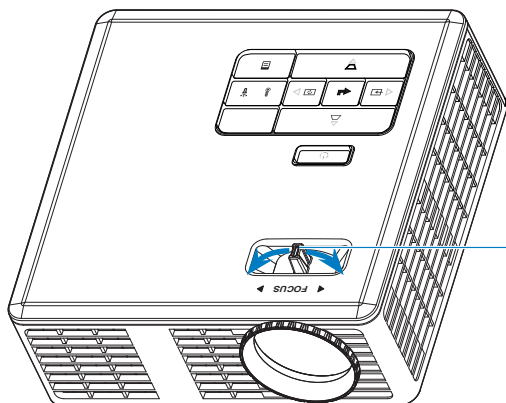
前面傾斜調整ホイール
(傾斜角度：0～6度)



プロジェクタのフォーカス調整

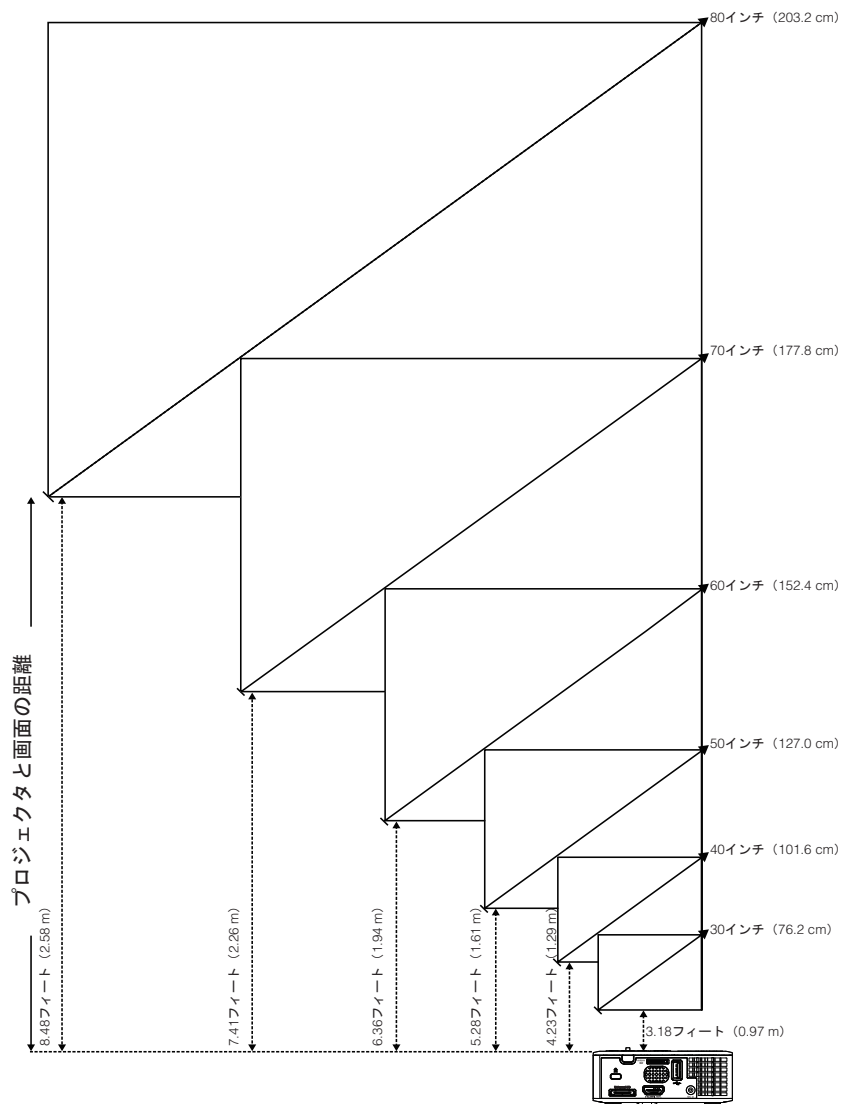
重要な注意：プロジェクタを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、調整ホイールが完全に引っ込んでいないことを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

画像が鮮明になるまでフォーカスタブを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 97 cm ～ 258 cm です。



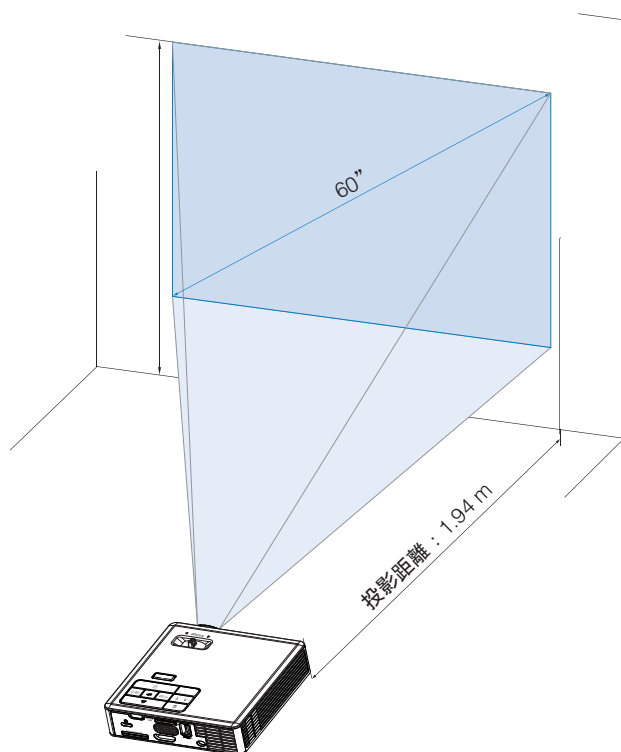
フォーカスタブ

投影画像サイズの調整



画面サイズ			投影距離
対角	幅	高さ	
30インチ (76.2 cm)	25.59インチ (65 cm)	15.75インチ (40 cm)	3.18フィート (0.97 m)
40インチ (101.6 cm)	33.86インチ (86 cm)	21.26インチ (54 cm)	4.23フィート (1.29 m)
50インチ (127.0 cm)	42.13インチ (107 cm)	26.38インチ (67 cm)	5.28フィート (1.61 m)
60インチ (152.4 cm)	50.79インチ (129 cm)	31.89インチ (81 cm)	6.36フィート (1.94 m)
70インチ (177.8 cm)	59.45インチ (151 cm)	37.01インチ (94 cm)	7.41フィート (2.26 m)
80インチ (203.2 cm)	67.72インチ (172 cm)	42.52インチ (108 cm)	8.48フィート (2.58 m)

メモ：このグラフはユーザーの参照用です。



ユーザー制御

オンスクリーンディスプレイの使用方法

1. プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
2. コントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを押して「メインメニュー」に移動します。
3. オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの $\odot$ または $\ominus$ ボタンを押します。
4. コントロールパネルまたはリモコンの $\odot$ または $\ominus$ ボタンを使って設定を調整します。
5. OSDを終了するには、コントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを直接押します。

メインメニュー

言語

OSD用の言語を設定します。 $\odot$ および $\ominus$ を押して言語を選択し、 $\rightarrow$ を押して言語を変更します。

3D機能あり

3D機能なし



ソース

ソースメニューを使ってプロジェクターの入力ソースを選択します。



■ 自動ソース

⬅️ を選択し押して有効にすると、自動オプションが次の使用可能な入力ソースを自動検出します。

■ VGA

⬅️ を押してVGA信号を検出します。

■ HDMI

⬅️ を押してHDMI信号を検出します。

■ USB

USBフラッシュディスクから写真、オーディオまたはビデオファイルを再生できます。

■ マイクロSD

マイクロSDカードから写真、オーディオまたはビデオファイルを再生できます。

■ 内部メモリ

プロジェクターの内部メモリから写真、オーディオまたはビデオファイルを再生できます。

ディスプレイモード

表示モードメニューでは、ディスプレイ画像を最適化します。オプション：**明るさ**、**PC**、**映画**、**写真**モード。



オーディオ

オーディオメニューで、プロジェクターの音量設定を調整できます。



◀を押して音量を下げ、▶を押して音量を上げます。

自動調整

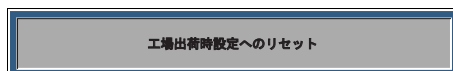
自動調整を使って、PCモードでプロジェクタの水平位置、垂直位置、周波数、およびトラッキングをVGAソース（PCモード）で自動的に調整します。



OSD Reset

⬅️を選択して押すと、すべての設定が工場デフォルト値にリセットされます。

以下の警告メッセージが表示されます：



コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

Data Transferring

選択して⬅️を押し、動作させます。

以下の警告メッセージが表示されます：



詳細

27～31ページの「詳細メニュー」を参照してください。

ファームウェアバージョン

プロジェクターの現在のファームウェアバージョンを表示します。

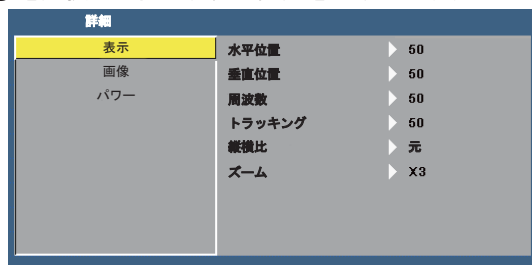
詳細メニュー

詳細メニューでは、**表示**、**画像**、および**パワー**の設定を変更できます。



表示 (PCモードで)

⬅️を選択して押し、表示設定を起動します。メニューには次のオプションがあります：



■ 水平位置

⬆️を押して画像を右へ移動し、⬆️を押して画像を左へ移動します。

■ 垂直位置

⬆️を押して画像を上へ移動し、⬆️を押して画像を下へ移動します。

■ 周波数

ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

■ トラッキング

ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、トラッキングを使って修正します。これは微調整です。

■ 縦横比

縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:9および4:3。

- 元: 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:9: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9スクリーン画像を投影します。
- 4:3: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3画像を投影します。

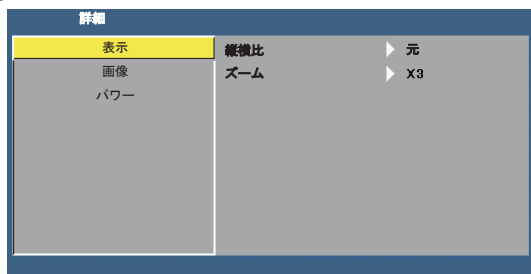
■ ズーム

- ⬆ または ⬇ を押して、画面をズームし表示します。

メモ：クローズドキャプションのオプションは、NTSCでのみ使用できます。

表示（ビデオモード）

⬅ を選択して押し、表示設定を起動します。メニューには次のオプションがあります：



■ 縦横比

縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:9および4:3。

- 元: 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:9: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9スクリーン画像を投影します。
- 4:3: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3画像を投影します。

■ ズーム

- ⬆ または ⬇ を押して、画面をズームし表示します。

画像 (PCモードで)

⇐を選択して押し、画面設定を起動します。画像メニューには次のオプションがあります：

詳細		
表示	明るさ	▶ 50
画像	コントラスト	▶ 50
パワー	白の強度	▶ 10

■ 明るさ

⬆️や⬆️を押して画像の明るさを調整します。

■ コントラスト

⬆️や⬆️を押してディスプレイのコントラストを調整します。

■ 白の強度

⇐を押し、⬆️と⬆️を使用して白の強度を表示します。

メモ：明るさ、コントラストおよび白の強度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にユーザーモードに切り替わります。

画像 (ビデオモード)

⇐を選択して押し、画面設定を起動します。画像メニューには次のオプションがあります：

詳細		
表示	明るさ	▶ 50
画像	コントラスト	▶ 50
パワー	色温度	▶ 中
	彩度	▶ 50
	鮮明度	▶ 50
	色合い	▶ 50
	白の強度	▶ 10

■ 明るさ

⬆️や⬆️を押して画像の明るさを調整します。

■ コントラスト

▲や▼を押してディスプレイのコントラストを調整します。

■ 色温度

色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。

■ 彩度

ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。▲を押して画像の色の量を増やし、▼を押して画像の色の量を減らします。

■ 鮮明度

▲を押して鮮明度を上げ、▼を押して鮮明度を下げます。

■ 色合い

▲を押して画像の緑色の量を増やし、▼を押して緑色の量を減らします（NTSC用にのみ使用可能）。

■ 白の強度

↔を押し、▲と▼を使用して白の強度を表示します。

メモ：

1. 明るさ、コントラスト、色温度、彩度、鮮明度、色合いおよび白の強度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にユーザーモードに切り替わります。

パワー

⬅️ を選択して押して、電源設定を起動します。電源メニューには次のオプションがあります：



■ 省電力

オフを選択すると省電力モードは無効になります。デフォルトで、プロジェクタは120分間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間にいずれかのボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。省電力は、**30分**、**60分**、**90分**、または**120分**に設定できます。遅延時間の間に入力信号が検出されると、プロジェクタは**オフ**になります。プロジェクタの電源を入れるには**電源**ボタンを押します。

■ Direct Power On

オンを選択して、ダイレクトパワーモードを起動します。プロジェクタコントロールパネルまたはリモコンで**電源**ボタンを押さない場合、AC電力の供給時にプロジェクタの電源が自動的に入ります。

■ 投射方式

プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

- **Front**：これはデフォルトオプションです。
- **Rear**：プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
- **Front Ceiling**：プロジェクターは、天井取り付けで投影するため画像を上下逆にします。
- **Rear Ceiling**：プロジェクターが画像を反転し、上下逆にします。天井取り付けで透過画面の裏面から投影できます。

■ スピーカー

オンまたは**オフ**を選択すると、スピーカー電源の**オン/オフ**が切り替わります。

■ Display Hour

投影時間を表示します。

マルチメディアの概要

サポートされているマルチメディア形式：

写真形式

画像タイプ (拡張子名)	サブタイプ	エンコードタイプ	最大ピクセル	最大サイズ
Jpeg / Jpg	ベースライン	YUV420	無制限	2GB
		YUV422		
		YUV440		
		YUV444		
	プログレッシブ	YUV420	64xパネル解像度	2GB
		YUV422		
		YUV440		
		YUV444		
BMP		64xパネル解像度		

ビデオ形式

ファイル形式	ビデオ形式	デコード最大 解像度	最大ビットレ ート(bps)	オーディオ形 式	プロフィール
MPG、MPEG	MPEG1	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3	
AVI、MOV、 MP4、MKV	H.264	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1 AC3	BP/MP/HP
AVI、MOV、 MP4、	MPEG4	1920x1080 30fps	30M bps	HE-ACC v1	SP/ASP
AVI、MOV、 MP4、	Xivd	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1	HD
AVI	MJPEG	8192x8192 30fps	30Mbps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1	ベースライン
WMV	VC-1	1920x1080 30fps	30M bps	WMA8/9(V1/ v2)	SP/MP/AP

オーディオ形式

音楽タイプ(拡張子名)	サンプルレート(KHz)	ビットレート(Kbps)
MP3	8-48	8-320
WMA	22-48	5-320
ADPCM-WAV	8-48	32-384
PCM-WAV	8-48	128-1536
AAC	8-48	8-256

オフィスビューア形式

ファイル形式	サポートバージョン	ページ/行の制限	サイズの制限
Adobe PDF	PDF 1.0、1.1、1.2、1.3、1.4	最大1,000ページ (1つのファイル)	最大75MByte
MS Word	British Word 95、 Word 97、2000、2002、 2003 Word 2007 (.docx)、 Word2010(.docx)、	オフィスビューアは、MS Word ファイルのすべてのページを同時 に読み込むわけではないため、ペ ージと行に明白な制限はありません。	最大100MByte
MS Excel	British Excel 5.95 Excel 97、2000、2002、 2003 Excel 2007(.docx)、 Excel 2010(.docx) Office XP Excel	行の制限：最大595 列の制限：最大256 シート：最大100 メモ：上記の3つの制限のいずれ かが同時に一つのExcelファイルに 存在することはできません	最大15MByte
MS PowerPoint	British PowerPoint 97 PowerPoint 2000、2002、 2003 PowerPoint 2007 (.pptx) PowerPoint 2010 (.pptx) Office XP PowerPoint PowerPointプレゼンテーショ ン2003およびそれ以前のパー ジション (.ppx) PowerPointプレゼンテーショ ン2007および2010 (.ppsx)	最大1,000ページ (1つのファイル)	最大19MByte

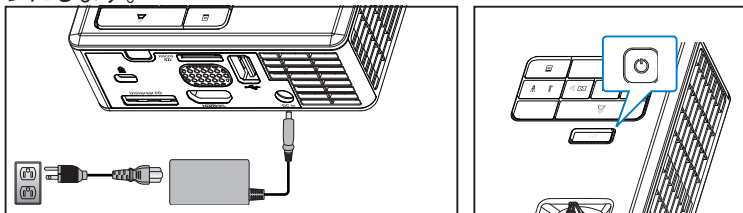
USBを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

メモ：

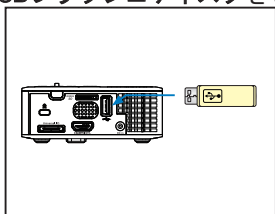
1. マルチメディアUSB機能を使用する場合、プロジェクトにUSBフラッシュディスクをつなぐ必要があります。
2. 互換性の問題があることから、USBポートをカメラに接続しないでください。

以下のステップに従って、プロジェクトで写真、ビデオ、音楽、またはオフィスビューアのファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクトの電源をオンにします。



2. USBフラッシュディスクをプロジェクトに差し込みます。



3. ソースメニューにアクセスし、USBオプションを選択して⏮ボタンを押します。このステップでUSBオプションが選択されている場合、画像入力ソースはマルチメディアメニューに自動的に切り替わります。



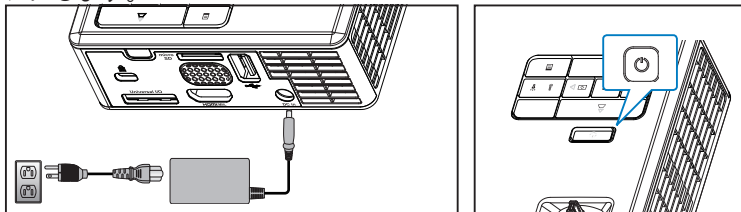
4. マルチメディアファイルを選択し、写真、ビデオ、音楽、または、オフィスビューアから選択し、⏮を押して、再生を開始します。または、セットアップオプションを選択して、写真、ビデオ、音楽、またはオフィスビューアに対する設定を変更します。

マイクロSDを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

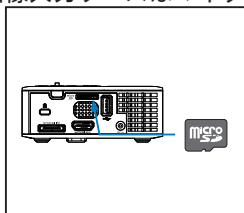
メモ：マルチメディアマイクロSD機能を使用する場合、プロジェクトにマイクロSDカードを入れる必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクトで写真、ビデオ、音楽、またはオフィスビューアのファイルを再生します。

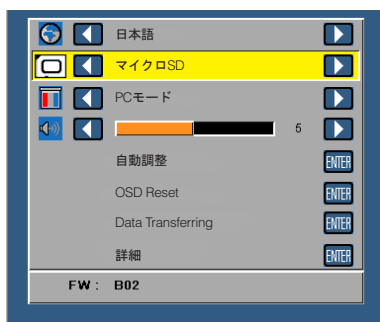
1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源ボタン**を押してプロジェクトの電源をオンにします。



2. **マイクロSDカード**をプロジェクトに差し込みます。マイクロSDカードを入れると、画像入力ソースはマイクロSD画面に自動的に切り替わります。



3. ソースメニューにアクセスし、**マイクロSD**オプションを選択して $\odot$ ボタンを押します。このステップで**マイクロSD**オプションが選択されている場合、画像入力ソースはマルチメディアメニューに自動的に切り替わります。

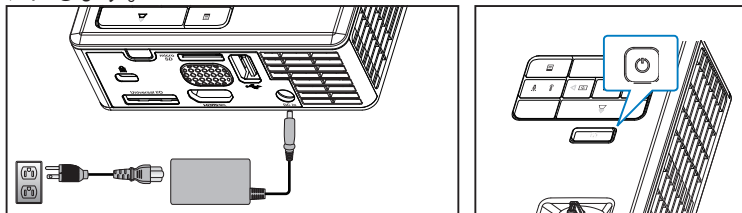


4. マルチメディアファイルを選択し、**写真、ビデオ、音楽、または、オフィスビューア**から選択し、 $\odot$ を押して、再生を開始します。または、**セットアップ**オプションを選択して、**写真、ビデオ、音楽、または、オフィスビューア**に対する設定を変更します。

内部メモリを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

以下のステップに従って、プロジェクタで写真、ビデオ、音楽、またはオフィスビューアのファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。



2. ソースメニューにアクセスし、**内部メモリ**オプションを選択して $\leftarrow$ ボタンを押します。このステップで**内部メモリ**オプションが選択されている場合、画像入力ソースはマルチメディアメニューに自動的に切り替わります。



3. マルチメディアファイルを選択し、**写真**、**ビデオ**、**音楽**、または**オフィスビューア**から選択し、 $\leftarrow$ を押して、再生を開始します。または、**セットアップ**オプションを選択して、**写真**、**ビデオ**、**音楽**、または**オフィスビューア**に対する設定を変更します。

マルチメディアメインメニュー



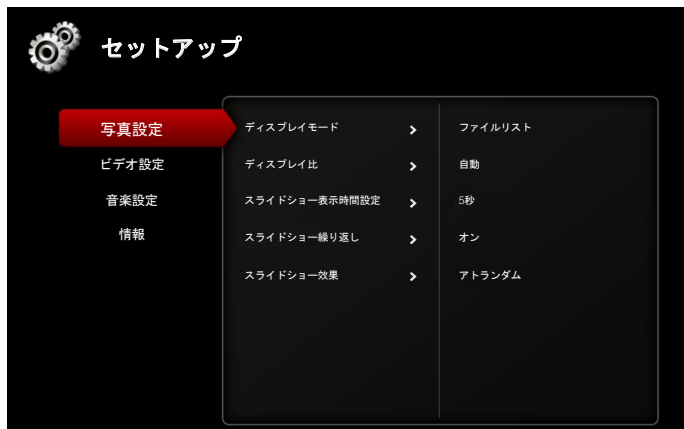
USB、MicroSD、および内部メモリに対するマルチメディアセットアップ

マルチメディアセットアップメニューでは、写真、ビデオ、音楽、およびオフィスビューアの設定を変更できます。

メモ : USB、MicroSD、および内部メモリに対するマルチメディアセットアップメニューおよび設定は共通です。

写真設定

⬅️を選択して押し、写真セットアップメニューを起動します。写真セットアップメニューには次のオプションがあります。



■ ディスプレイモード

⬆️または⬆️を押して、画面の写真の表示モードを選択します。オプション：ファイルリスト、サムネイル、およびスライドショー。

■ ディスプレイ比

⬆️または⬆️を押して写真の表示比を自動(元の比率)またはフル(フル画面)で選択します。

■ スライドショー表示時間設定

⬆️または⬆️を押してスライドショーの間隔を選択します。タイムアウトになった後、画像は自動的に次の画像に切り替わります。オプション：5秒、15秒、30秒、1分、5分、および15分。

■ スライドショー繰り返し

オンを選択してスライドショーをリピータします。または、オフを選択して、最後のページに達したときにスライドショーを停止します。

■ スライドショー効果

⬆️または⬆️を必要なスライドショーのエフェクトを選択します。オプション：アトランダム、長方形、オフ、ヘビ、パーティション、消去、ブラインド、ライン、グリッドの十字表示、十字、およびらせん。

メモ：スライドショー表示時間設定、スライドショー繰り返し、およびスライドショー効果機能のみがスライドショーモードに対応しています。

ビデオ設定

⬅️を選択して押し、ビデオセットアップメニューを起動します。ビデオセットアップメニューには次のオプションがあります。



■ ディスプレイ比

⬆️または⬆️を押してビデオの表示比を選択します。

- 自動：元の縦横比を保持します。
- フル：全画面。

■ 再生モード

⬆️または⬆️を押してビデオ再生モードを選択します。オプション：一回、一回繰り返し、繰り返し、およびアトラダム。

■ 自動再生

オンを選択して、ビデオリストに入るときに自動的にビデオを再生します。

音楽設定

⏮️を選択して押し、音楽セットアップメニューを起動します。音楽セットアップメニューには次のオプションがあります。



■ 再生モード

⏮️または⏮️を押してビデオ再生モードを選択します。オプション：一回、一回繰り返し、繰り返し、およびアトラダム。

■ スペクトル表示

オンを選択して、音楽の再生中にスペクトラムプロットを表示します。

■ 自動再生

オンを選択して、音楽リストに入るときに自動的に音楽を再生します。

情報

プロジェクタの現在のファームウェアバージョンと日付を表示します。



付録

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解決しない場合は、最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

問題	解決方法
画面に画像が表示されない。	- プロジェクタの電源がオンになっていることを確認します。 - OSDソースメニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。 - 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。 - すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 - コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。	- コントロールパネル上の自動調整ボタンを押します。 - ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度をWXGA (1280 x 800) に設定します。 - 解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクタを再起動します。 - 画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。
画面にプレゼンテーションが表示されない。	ノートパソコンをお使いの場合は、を押して、出力設定を切り替えます。例：[Fn]+[F4]キー。
画像が不安定、または、ちらつく。	詳細メニューのOSD表示設定でトラッキングを調整します（PCモードのみ）。
画像に縦線が入る。	詳細メニューのOSD表示設定でト周波数を調整します（PCモードのみ）。
画像の焦点が合わない。	- プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。 - 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します（97 cm ～ 258 cm）。

問題

解決方法

16:9 DVDを表示すると画像が伸びる。

- プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。
- 画像がそれでも伸びる場合、OSDの**詳細メニューの表示**で縦横比を調整してください。

オレンジ色のLED警告インジケータ（LED）が点灯しています

- プロジェクタのLEDが故障したため、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合はOptomaまでお問い合わせください。

オレンジ色のTEMP警告インジケータ（LED）が点滅しています

- プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合はOptomaまでお問い合わせください。
- プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。**電源ボタン**を10秒間押し続けることで、プロジェクターモードを消去してください。5分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合はOptomaまでお問い合わせください。

リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。

- 電池の残量が少なくなっています。遠隔地からのLED表示が弱過ぎないか点検します。その場合、新しいCR2025電池と交換します。

ガイド信号

プロジェクト ステータス	説明	電源 (青/オレンジ 色)	TEMP警告 (オレンジ 色)	LED警告 (オレンジ 色)
スタンバイモ ード	スタンバイモードのプロジェクト。電 源を入れる準備ができました。	オレンジ色 点滅	オフ	オフ
電源オン	通常モードのプロジェクト。画像表示 の準備ができました。	青色	オフ	オフ
プロジェクト が過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が 35℃を超えていることが考えられま す。プロジェクトは自動的にシャット ダウンします。通気口が詰まっておら ず、周囲温度が動作範囲内にあること を確認します。問題が解消しない場合 は当社までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色 点滅 (オフは1 秒、オンは 3秒という 周期です)	オフ
ファンが故障 しています	ファンの1つが故障しました。プロジ ェクトは自動的にシャットダウンしま す。問題が解消しない場合は当社まで お問い合わせください。	オフ	オレンジ色 点滅 (オフは 0.5秒、 オンは2秒 という周期 です)	オフ
LED故障	LEDがシャットダウンしています。	オフ	オフ	オレンジ色

互換モード(アナログ/デジタル)

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	ピクセル・クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
720 x 400	70.087	31.469	28.322
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	59.940	31.469	25.175
640 x 480	75.000	37.500	31.500
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1280 x 768	59.87	47.776	79.500
1366 x 768	59.789	47.712	85.500
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1280 x 768-R60	59.995	47.396	68.250
1280 x 768	74.893	60.289	102.250
1280 x 768	84.837	68.633	117.500
1280 x 800-R	59.910	49.306	71.000
1280 x 800	74.934	62.795	106.500
1440 x 900	74.984	70.635	136.750

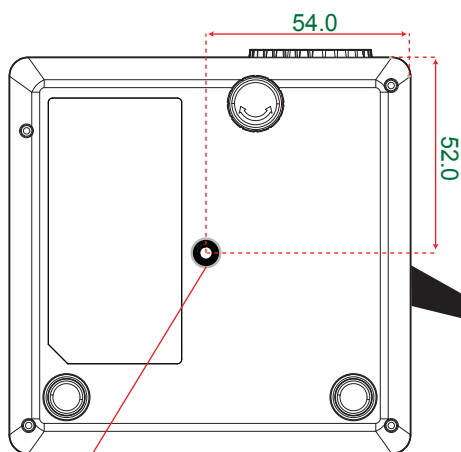
プロジェクタの三脚架

プロジェクタのねじ穴に標準三脚をねじで取り付けます。

メモ：

1. 三脚と天吊りはオプションの付属品です。
2. 設置を誤って損傷した場合は保証の対象外になることにお気をつけください。

装置一式: mm



Insert Nut 1/4" - 20 UNCxL7.5mm
(三脚用ねじ穴)

